



池田 良穂

(大阪経済法科大学)  
客員教授

# 新クルーズ学

6

今、クルーズ人口の増加が著しい国が中国とオーストラリアです。

オーストラリアでは古くからトラディショナル・スタイルのクルーズは人気がありました。2000年代になってアメリカから現代クルーズが進出して、マーケットの急拡大が始まり、16年の統計では、クルーズの浸透率(クルーズ人口/人口)はクルーズ先進国

「オベーション・オブ・ザ・シーズ」に乘船することになりました。まず、クルーズに乗る前に3日間、シドニー港が見渡せるホテルに滞在し、南半球の夏はオセアニアで驚きました。巻頭のカラページに6ページも割いて、シドニー発着のクルーズの紹介があるの

## 急拡大する豪華マーケット

です。たぶんシドニー在住の情報提供者からの情報に基づいてのページだと思えますが、それほどクルーズがシドニーで根づいているということな

クルーズを、こんなにも成長させているのかを見てみると、3月にシドニー発着のクルーズ客船認知度がオーストラリア



シドニー港に停泊する「エクスペローラ」

「オベーション・オブ・ザ・シーズ」の乗客数は、今航路を100名ほどオーバー

れ400人をはじめ、中国、ニュージーランドなどいろいろな国からのフレイ&クルーズ客が半数以上を占めているのは驚きです。オーストラリア発着のクルーズの需要は、地元マーケットだけでなく、世界各地からクルーズに乗りこる人々で倍増していることを意味しており、それをターゲットとしてオーストラリア発着のクルーズ客船が増え、クルーズの頻度も大幅に増加して、オーストラリア人にとってはクルーズに乗りやすく、選びやすい環境ができています。